

臨床教育者と学生がお互いに 臨床思考を言語化して共有する工夫

臨床実習場面では、学生は臨床教育者の説明に耳を傾け理解しようとする姿勢が大切です。何が理解できて何が理解できないのが、自分はどのように問題解決しようとするかという思考過程が学生自身にも必要となります。一方、臨床教育者は形式知の確認に加え、臨床教育者がもつ暗黙知を伝えることが大切です。

今回は CCS 形式の実習を実践されている講師を養成校側と臨床側からそれぞれお招きし、講演 1 では学内教育ではどのように学生の思考過程と言語化を醸成しているか、講演 2 では臨床教育者がどのように暗黙知を伝える工夫をしているのかについてご講演頂きます。

期日： 令和元年 **12 月 14 日**（土）

10 時 00 分～12 時 30 分（9 時 30 分受付）

会場：目白大学 新宿キャンパス 10 号館 9 階 10903 教室（東京都新宿区中落合 4-31-1）

主催：クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会

会費：会員 1000 円 非会員 2000 円（研修会当日に会員申し込みも可能です）

【本会は SIG 認定されている団体ですので、日本作業療法士協会会員は 1 ポイント付与されます】

※令和元年 9 月現在、共催打診中 共催となった場合は 2 ポイントとなります

【内容】

教育講演 1：臨床実習に繋げる問題解決型学習（PBL）による学生の思考を
言語化させる工夫 毛束 忠由氏（目白大学）

教育講演 2：臨床実習における「暗黙知の言語化」と伝え方の工夫
渡邊 基子氏（介護老人保健施設 ゆうゆう）

お申込み方法（締め切り 12 月 10 日）

件名に「12 月 14 日研修会申し込み」、本文に①氏名②所属③メールアドレス④経験年数(OT の方のみ)
⑤主な領域(身体、精神、発達、高齢、養成校など)⑥臨床実習指導経験の有無を記載の上、下記のアド
レスにメール、またはホームページの申込フォームからお申込みください。

クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会事務局

Mail ccs_ot_education@yahoo.co.jp 担当：野村

HP <https://ccs-ot-education.jimdo.com/>

